

洪水浸水想定区域とは

洪水浸水想定区域は、水防法の第14条に基づき洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定するものであり、浸水した場合に想定される水深等と併せ、洪水浸水想定区域図として公表します。

本ハザードマップは、日光川水系日光川流域(日光川、蟹江川、福田川、領内川、善太川)の浸水想定区域図(想定最大規模)の図を掲載していますが、蟹江町では他の河川の氾濫においても浸水が想定されています。

詳しくは下記の二次元コードからご確認くださいませようお願いいたします。

蟹江町洪水ハザードマップ



【対象河川】※河川ごと

日光川水系	日光川、蟹江川、福田川、領内川
庄内川水系	庄内川、新川
筏川水系	筏川
木曽川水系	木曽川

マップあいち 水害情報マップ



愛知県が提供する統合型地理情報システム(GIS)「マップあいち」の「水害情報マップ」では各流域の「想定最大規模」「計画規模」の情報を確認することができます。

水害からの避難の注意点

- **積極的に情報を入手する** 災害時には様々な情報が発信されます。スマホやテレビから積極的に情報を入手し避難のきっかけをつかみましょう。

気象庁HP



蟹江町防災情報HP



蟹江町防災情報メール
(登録用)



● 被害が出る前に早めに避難する

特に車で避難が必要な方は、高齢者等避難など、極力夜になる前のより早い段階で避難を開始してください。

● 浸水した道路は通らない

浸水した道路は、水が濁って足元が見えにくくなり、マンホールや排水溝などに転落して危険です。

● 浸水リスクの高い道路は避けて避難する

冠水しやすい架下のアンダーパスや過去浸水で通行止めとなった道路などを使った避難は避けてください。

● ハザードマップで避難方法を確認する

ハザードマップで、避難先、避難経路など避難方法をあらかじめ確認しておきましょう。